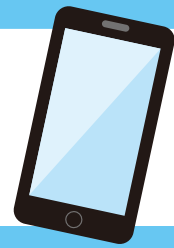


各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



保育現場の人材確保と働きやすい環境づくりについて

立憲民主党越谷市議団 土屋 来夢 議員

問 子どもと向き合う時間の確保に向け、午前は事務補助職員の配置を要望し、午後についても負担軽減を働きかけてきた。現場の効果と今後の取り組みは。

市長 午前の事務補助職員の配置で保育士の負担が軽減され、保育計画を立てる時間や、保育士同士が互いに相談する時間も確保された。また、昼の時間帯に短時間勤務の保育士を配置し、保育士の負担軽減につなげる考えである。



ジェンダーバイアスへの対応について

日本共産党越谷市議団 山田 大助 議員

問 ジェンダー平等の推進のため、ミソジニー（女性嫌悪）と、ミソジニーにつながる可能性があるジェンダーバイアスを取り除く必要があるが、市長、教育長の考えは。

市長 性別による差別はあってはならないとの認識で、市の刊行物にジェンダーバイアスを助長する表現がないかチェックしている。今後対象を拡大する。

教育長 学校におけるジェンダーバイアス解消に向け、さまざまな視点で取り組む。



持続可能な公共交通網の形成と交通不便地域への対応について

NEXT越谷 松島 孝夫 議員

問 県内90%の市がコミュニティバス等を導入しているが、本市は導入へ向けた努力が示されていない。再検討すべきでは。

市長 さまざまな調査を踏まえ、チケットレス運賃補助に決定した。

問 運賃補助は高齢者限定の施策であり、本来の公共交通の役割や公平性に反すると考える。交通不便地域への取り組みは。

市長 まずは75歳以上、移動が難しい人

たちを救っていきたいと考えている。



学校における性暴力について

越谷市民ネットワーク 山田 裕子 議員

問 学校において性暴力が発生した場合、統一された対応マニュアルはあるか。

教育長 教育委員会では性暴力あるいは性暴力と疑われる指導の実態把握調査を行っている。事実確認の結果、性暴力が疑われる事案があった場合は、学校の管理職が事実確認を行うとともに、教育委員会に報告させている。さらに、教育職員等による児童生徒性暴力等の早期発見対処フローを作成し、各学校に送付している。



持続可能な米政策について

日本共産党越谷市議団 大和田 哲 議員

問 政府が米の生産基盤を弱体化させたため、米不足の不安を解消できないと考える。安定供給には、国が、米農家の支援を抜本的に強化する農政に転換することが必要と考えるが、市の支援策拡充の考えは。また、国に所得補償、価格保証の財政支援の要望をお願いしたい。

市長 今後とも国・県の動向を注視しつつ、関係機関と連携を図り、農業者が継続して米作りを行えるよう支援に努める。



しらこぼと運動公園人工芝のマイクロプラスチック対策について

越谷市民ネットワーク 大田 ちひろ 議員

問 人工芝は摩耗や劣化で生じるマイクロプラスチックや、有機フッ素化合物（PFAS）の人体や環境への影響が懸念されている。環境負荷を最小限に抑える工夫は。

市長 天然芝とも比較を行い使用効率や維持費を考慮し人工芝化を選択した。土上に敷設する工法で環境負荷を低減し、耐久性向上や3段階のマイクロプラスチック捕捉も講じ、流出抑制に努める。なお、使用予定の人工芝にPFASは含まれない。



「水遊都市KOSHIGAYA」とシティプロモーションの推進について

NEXT越谷 立澤 貴明 議員

問 誰にいくらで発注し、どのように選んだのか。市長自ら「友人に越谷出身のコピーライターがいる」と職員に紹介したのか。

市長 株式会社JTB埼玉支店に674万7000円。プロポーザルを開いて複数社からの提案によって選定した。株式会社SANZENには957万円。令和5年度以前にアクションプランの策定に関わった経過から随意契約をした。「私の同級生ですよ」という話をした。



市内鉄道駅における授乳室の設置について

NEXT越谷 金井 直樹 議員

問 市内各駅に授乳室を設置し、子育て世帯を支援する考えは。また、市単独での鉄道事業者への要望や民間事業者との連携は。

市長 県や近隣自治体と連携し、鉄道事業者に対して授乳室の設置を要望していく。また、市の施策を推進する内容については、市単独での要望も検討するほか、民間事業者との連携については、財源等の課題を検証し、事業者の意見を聞きながら、授乳室の設置に取り組んでいきたい。



設置型授乳室



埼玉県公立高校入試制度の変更に

こしがや無所属の会 大野 恭子 議員

問 埼玉県では令和9年度から入試制度が変更される。生徒・保護者への情報提供に関し越谷市教育委員会の考えは。

教育長 具体的な変更点は、調査書の様式変更と自己評価資料の提出、全受検者への面接実施、選抜の特色化の3点。市教委としては校長会・進路指導主事連絡協議会を通じ確実な情報伝達をしていく。各中学校でも主体的に進路選択できるよう、学年に応じた進路指導を行っている。



児童館と保育所の複合化の考え方について

日本共産党越谷市議団 工藤 秀次 議員

問 児童館と保育所の複合化の考えは。

市長 児童館ヒマワリ内に蒲生保育所、児童館コスモス内に桜井保育所を移設して、複合化することを検討している。

問 複合化で児童館機能は低下しないか。保育所の避難経路と園庭の確保は。

市長 展示品を縮小し、中高生を中心とした機能を拡充する。避難経路は安全に十分配慮する。園庭も確保していきたい。



越谷アルファーズ新アリーナ要望書に対する検討状況について

NEXT越谷 野口 高明 議員

問 市立病院、道の駅、アリーナ、越谷サンシティと滞っている4つの大きな諸課題について、どの優先順位で解決していくのが適切と考えるか。

市長 アリーナはできる限り民間でやっていただきたいというのが本音。足りない分等に関しては、経済効果等を考えていきたい。さらに、さまざまな事業、市民の声があるので、バランス、状況を見ながら判断していきたい。